

14:46 大地震発生（震度6）

机の下などで頭部を守る指示。その後校庭へ避難。

校庭に出る際、先生は「山に逃げるからな」と児童に声をかけた。体育館脇のシイタケ栽培で使っていた山へ向かって、すぐに走り出した子もいたが、まず校庭に整列し、点呼。点呼終了までは5～6分。先生が校舎内の検索を行い、全員が確認できた。中庭を向いて整列、指揮台の上にラジオがあった。

14:49 6mの大津波警報

14:52 防災無線のサイレンが鳴り、6mの津波警報が伝えられた。高台への避難と海岸、河川へ近づかないよう繰り返し呼びかけ。サイレンはこの時しか鳴っていない。

長面方面へ向かおうとしていたスクールバスは、玄関前でいつでも発車できるように待機し、学校の指示を待っていた。バス会社から避難するよう無線も入っていた。運転手が避難を進言するが、学校からの指示は「待機」。

15:00 15時前後に迎えに来た保護者は、車内でラジオを聴き「6～7mの保護者、津波が来るから、山へ逃げて」と進言。

「10mの津波が来る」というラジオからの情報。子どもも状況を察知し、「ここにいたら死ぬ」「山に逃げよう」と訴えた。

15:25 市の広報車が「松原を越えて津波、高台へ避難」を呼びかけ通過。

15:32 富士川が越流

やがて流木やがれきが橋に堆積したため、堰き止められた津波が数分後に一気に溢れた。

15:36 三角地帯に向かって移動。校庭から移動を開始したのは大津波がいよいよ迫って、川からはすでに水があふれていた時である。側溝からも水が吹き出していた。一応上級生が先頭となっているが、整列する余裕などなく、列は乱れており、学年は入り交じっていた。子ども達を向かわせた民家の裏は私道で狭い上、行き止まりになっている。

15:37 大川小に津波到達

川からあふれた津波の後、陸を遡上した津波も到達。両方が山にぶつかり、校庭で渦を巻いた。



植樹活動をしていたバットの森



校庭脇の斜面は崩れないように土留めしていた場所が4段ある。授業や写真撮影で使用。



体育館裏の斜面は傾斜が緩やか(9°) 3月にはシイタケ栽培の体験学習が行われていた。



校庭から自転車置き場脇の狭い（幅約70cm）通路を通して移動。



150m、1分間、津波の方向に、1列で移動



津波到達時間15:37



津波到達約2時間後



犠牲者数（2022.2現在）

児童74名（うち4名は不明）
教員10名